

「五木村ゼロカーボンシティ2050」宣言

近年、地球温暖化に起因すると考えられる異常気象が世界的に生じ、特に集中豪雨や台風など人々の生命、財産を脅かす自然災害が多発しております。

人吉・球磨地域においても、令和2年7月に線状降水帯による集中豪雨が発生し、球磨川水系の河川の氾濫、土砂崩れなどにより、多くの人命、財産が失われました。

また、干ばつなどの影響による世界的な食糧不足、価格の高騰など、私たちの日常生活への影響も日に日に大きくなろうとしております。

地球温暖化は大気中の二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの増加が主な要因とされています。

その対策として、平成27年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温の上昇を 1.5 度に抑える努力を追求する」という目標が掲げられました。このような中、我が国では、令和2年10月に当時の菅総理が「2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロ」にすることを表明し、熊本県をはじめ、県内市町村でも2050年(令和32年)までに二酸化炭素排出量実質ゼロにすることを目指し、「ゼロカーボンシティ宣言」を表明する自治体が増えております。

本村においても、村民ひとりひとりが住んでよかった、住み続けたいと思う「ひかり輝く五木村」を実現し、将来に渡って安心・安全に、生き生きと暮らせるよう、村民、事業者、行政が一体となって、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すことを宣言します。

令和4年3月9日



五木村長 木下 丈二